

第28回 文京区民オーケストラ 定期演奏会

The 28th Regular Concert



BUNKYO CIVIC ORCHESTRA
TOKYO
EST. 1993



〈指揮〉松下 功

Conductor Isao Matsushita

PROGRAM

ウェーバー

歌劇「魔弾の射手」作品77 序曲

C. M. von Weber

Overture from 'Der Freischütz' Op. 77

ライネッケ

フルート協奏曲 二長調 作品283

Carl Reinecke

Flute Concerto, in D major Op. 283

シベリウス

交響曲第2番 二長調 作品43

Jean Sibelius

Symphony No. 2, in D Major Op. 43

〈フルート〉アンドレアス・ブラウ

Flute solo Andreas Blau

2017.

11/12

13:30開場 14:00開演

文京シビックホール 大ホール

1,000円(全席自由)

※当日券は13:00よりホール入口で販売いたします
※未就学児童の入場はお断りいたします

チケットのご購入・お問い合わせ

TEL. 090-9804-0980

Mail. bcot.ensoukai@gmail.com

ウェブサイト▶<http://www.BCOT.info/>

Facebook▶<https://www.facebook.com/BCOT.orchestra/>



東京藝術大学
130周年
Tokyo University of the Arts
130th Anniversary

東京藝術大学130周年記念(応援プログラム)

【後援】文京区 / 公益財団法人 文京アカデミー 【協力】一般社団法人 アーツ・イノベーション・プロジェクト

フルート ソロ アンドレアス・ブラウ (Andreas Blau / フルーティスト)

12歳からフルートを始め、ベルリン芸術学校(現ベルリン芸術大学)にて、カールハインツ・ツェラーに学ぶ。また米国のナショナルミュージックキャンプでも研鑽を積み、国内及び国際コンクールで多数優勝する。20歳という驚異的な若さでベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルーティストとなる。

ヘルベルト・フォン・カラヤンのオーケストラアカデミーでは、1973年の創立以来後継者への指導を行い、また1983～1985年ベルリン芸術大学の講師を務める。2005年、上海音楽学院の名誉教授に就任。欧州、南北アメリカ、アジアにおいてマスターコースを開催し、また国際コンクールの審査委員を務める。

ソリストとしては、ヘルベルト・フォン・カラヤン、ユードィ・メニューイン、ダヴィッド・オイストラフ、クラウディオ・アバド、サイモン・ラトル等と共演。

ベルリン・フィル木管ソリストのメンバーであり、アンサンブルDie 14 Berliner Flötisten(14人のベルリンのフルーティストたち)の創設者・芸術監督。Die 14 Berliner Flötistenには現代の多くの作曲家より曲が贈られており、2002年には松下功の委嘱作品《風のマントラ》を初演。

ソリストとして、ベルリン・フィルのメンバーとして、また室内楽奏者として数多くのCDを発表。2016年春、フランツ・クロンマーのフルート四重奏曲をTUDORから発売。アンサンブルの最新のCDは2016年のクリスマスにMDGから発売された。

指揮 松下 功 (Isao Matsushita / 作曲家・指揮者)

東京藝術大学、及び同大学院修了後、ベルリン芸術大学において研鑽を積む。日本音楽コンクール作曲部門入賞、メンヒェンград・バッハ国際作曲コンクール第1位、第7回入野賞受賞。「World Music Days グラーツ大会・香港大会・メキシコ大会」「ベルリン芸術祭」「アジア音楽祭」等、多くの音楽祭でその作品が演奏されている。1996年、北京において「松下功管弦楽作品演奏会」が開催される。1998年長野冬季オリンピックにおいて行進曲「信濃民謡パラフレーズ」やオペラ「信濃の国・善光寺物語」の作曲を担当する。和太鼓協奏曲「飛天遊」は、ベルリン・フィル、ザグレブ・フィル、シドニー交響楽団、東京フィルハーモニー、広島交響楽団をはじめ、世界各地のオーケストラで演奏され好評を得ている。作曲・指揮・音楽企画など幅広く活動。アジアの現代音楽に詳しく、アジア各地の作曲家との交流も深い。指揮者としても、古典から現代、バレエまで幅広いレパートリーを持っている。文京区民オーケストラ第20回定期演奏会で初演した作品《天空の祈り》～とうとき命へ～は、その後、スイス、ドイツのオーケストラにより演奏され高い評価を受けている。

現在、東京藝術大学副学長・演奏芸術センター教授、一般社団法人日本作曲家協議会会長、アジア作曲家連盟会長、一般社団法人アーツ・イノベーション・プロジェクト理事長、2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育専門委員。文京区民オーケストラ指揮者、アンサンブル東風代表、カメラダ・ナガノ音楽監督兼常任指揮者。文京区民オーケストラ設立時より指揮・指導をつとめ、団員から絶大な信望を集めている。

文京区民オーケストラ 東京都文京区を本拠地として1993年6月に有志により発足したアマチュアオーケストラで、現在の団員数は約90人。設立当初から、日本を代表する作曲家の一人である松下功氏を音楽監督・指揮者に迎え、松下氏と氏の紹介による優れた音楽家のご指導のもと、オーケストラ活動を行っています。

メンバーは学生から70歳代まで幅広く、また様々な職業の団員で構成されています。各々、日頃これらの職業に就きながら、毎週日曜日にオーケストラのメンバーとして一緒に音楽を楽しんでいます。

松下氏の人脈のもと、日本最高レベルの演奏家のほか、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など世界一流の演奏家と共演。また海外・国内演奏旅行に行く機会にも恵まれています。



文京シビックホール

ACCESS

- 東京メトロ 丸ノ内線・南北線 後楽園駅直結
- 都営地下鉄 三田線・大江戸線 春日駅直結
- JR中央・総武線 水道橋駅から徒歩約10分